



梅菅園だより こしきの丘

令和3年10月発行（第59号）

社会福祉法人 本郷福祉会

〒729-0414 三原市下北方2丁目9番1号

TEL : (0848)86-1750

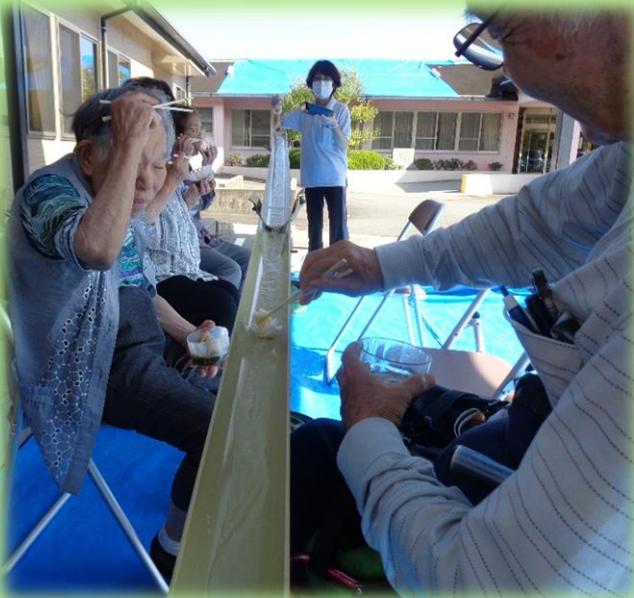
FAX : (0848)86-1788

E-mail : info@baikanen.jp

URL : http://baikanen.jp/

梅菅園通所介護事業所 納涼祭

特別養護老人ホーム梅菅園 敬老会



コロナ禍の中で

理事長 平原 榮

今年の梅菅園の敬老会は職員だけで実施しました。百歳の方一名、百歳以上の方三名、八十八歳の方六名がお祝いを受けられました。誠におめでたいことです。

梅菅園は、平成五年（一九九三年）四月に施設が新築落成して二十八年が経過しました。現在、外壁及び屋根の改修工事を行っていますので、十二月には、新装梅菅園がご覧いただけると思います。

コロナワクチンについては、入所者と職員は二回目の接種が終了しています。また、職員は月二回PCR検査を実施しています。

コロナ対策で職員は、出勤時、退所時の手の消毒、体温の測定、マスクの着用、施設内の換気と消毒等が続いています。ボランティアの方の演芸は中止していますが、デイサービスでは、職員によるゲームや誕生会等を行っています。

これからは、コロナの陽性者数の変化をみながら面会や行事等検討をしていきたいと思っています。

この度の役員改選で理事長に再選されました。安心安全な施設を目指して職員と共に努力してまいりますので、引き続き皆様方のご支援ご協力をお願いします。



元気です

特別養護老人ホームの様子

カメラ散歩



107 歳



101 歳



101 歳

おめでとう
いじやます



100 歳のお祝い



88 歳 米寿のお祝い

皆でかき氷を食べました



～デイサービス～



カメラ散歩



七

夕

皆が元気に過ごせましたよ!!



納涼祭

輪投げ、射的ゲーム、
流しそうめん、たこ焼きを
みんなで楽しみました♡



野菜作り

デイの活動

季節の制作

畑で枝豆を収穫し茹
でてみんなで頂きました。(^▽^)/
美味しかったです!!



大輪の菊の花



りんごの木を作成しました。
色画用紙や折り紙を使って
色とりどりの実がなりました!



みなさま方からのご厚志に心から感謝いたします。

(令和3年6月～令和3年9月受付分)

敬称略・順不同

※ご利用者様、ご家族様からのご厚志につきましては、所轄庁の指導にて掲載は控えさせていただいております。

〈ご寄付、ご寄贈〉

心光寺 正月孝雄様、岡田利文様、

北山修様、本郷小学校様、本郷西小学校様



本郷福祉会の理事・監事・評議員が次のとおり6月に選任されました。

理事長 平原 榮	評議員 大貫 祝子
理事 藤澤 房子	評議員 吉行 導治
理事 岡田 利文	評議員 中村 益夫
理事 池田 明	評議員 味木 文司
理事 香河 哲也	評議員 奥田 眞弓
理事(施設長) 岡林 浩一	評議員 橋本 宏明
監事 中分 孝	評議員 有本 博文
監事 北山 修	

※ 任期は、理事・監事2年、評議員4年です

通所送迎車にドライブレコーダー、バックモニターを設置

デイサービスのバンタイプの送迎車は、車体が大きく、狭い場所の走行や方向転換は、同乗職員が誘導を行っています。7月に同タイプの車3台に、バックモニターとドライブレコーダーを設置しました。誘導を基本に機械も活用し、より安全な送迎に努めます。



令和2年度入所・利用状況報告

1 特別養護老人ホーム梅菅園

(1)入所者の状況(令和3年3月31日現在)

入所者数 (定員78人)

男性	女性	合計
10人	65人	75人
12.8%	83.3%	96.1%

年齢

最高齢	最年少	平均
106歳	64歳	87.8歳

介護度

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
1人	5人	18人	28人	23人	4.1

(2)利用状況(年間)

延べ利用人数	27,124人
利用率	95.3%

2 梅菅園通所介護事業所

(1)利用状況(年間)

延人数(介護)	3,606人
延人数(予防)	676人
利用率	74.5%

※事業収支は、梅菅園ホームページに掲載しています。



編集後記

2021年夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが閉幕しました。2013年9月、前IOCロゲ会長の「TKO KYO」の発声と同時に歓喜に湧いた日を昨日のことにように思い出します。当時仕事で書いた広報誌には、「7年間、健康を維持して元気でオリンピックを観戦しましょう。」と呼びかけた記事が今も残っています。

あれから8年、「よもやよもや」コロナ禍での大会、緊急事態宣言を誰が想像できたでしょう。私たちは文明の進歩とともに、何でも掌握できてしまうかの如く錯覚をしてしまいます。しかし自然界に暮らす生物として、自然の恵みや便利さばかりを求めることなく、災いにも順応し我慢していかなければならないことを痛切に感じています。(O・K)